

令和2年度むらの高等支援学校 学校教育自己診断 結果 <教職員>

回答数 45

		教職員					肯定	前年比 (±7%)	前年度 肯定	今年度 否定	備考			
		①	②	③	④	無 回 答								
学校生活	支援 総務	1	⑦本校では、学校祭・校外学習・宿泊研修などの学校行事は、生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫を行っている。	19	20	2	1	3	86.7%	-	-4.6%	91.3%	6.7%	
授業	教務 支援	2	①私は、生徒の特性や実態をふまえ教員間で授業の内容や方法等について情報交換や検討する機会を持っている。	16	23	3	0	3	86.7%	-	+4.1%	82.6%	6.7%	
		3	私は、生徒の自主性をいかすよう授業の工夫を行っている。(プリント・板書・タブレット等)	18	25	0	0	2	95.6%	-	+6.4%	89.1%	0.0%	
		4	本校では、教科内で教材や情報の共有ができています。	14	21	8	1	1	77.8%	-	-4.8%	82.6%	20.0%	
		5	私は、主体的・対話的で深い学びの実現をめざして授業を行っている。	19	24	1	0	1	95.6%	↗	+8.6%	87.0%	2.2%	
		6	本校では、生徒が将来の進路や生き方について考える機会を多く設けている。	27	15	1	1	1	93.3%	-	-0.1%	93.5%	4.4%	
進路	進路	7	④本校では、生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	24	15	4	1	1	86.7%	-	+6.2%	80.4%	11.1%	
		8	本校では、「説明会」「進路便り」「講演会」「施設見学会」などを通じて進路関係の情報を提供している。	27	17	0	0	1	97.8%	-	-2.2%	100.0%	0.0%	
		9	私は、個々の生徒の障がい特性に対応した教育活動を行うために、専門性を高めている。	16	23	5	0	1	86.7%	-	+6.2%	80.4%	11.1%	
教員に ついて	支援 生指	10	③⑥私は、カウンセリングマインドをもって生徒の相談に快く応じている。	22	20	1	1	1	93.3%	-	-4.5%	97.8%	4.4%	
		11	本校では、卒業後の社会自立を念頭に「生活指導・生徒指導」を行っている。	26	16	1	1	1	93.3%	-	+6.4%	87.0%	4.4%	
		12	⑤本校では、いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	30	13	0	1	1	95.6%	-	+4.3%	91.3%	2.2%	
人権 いじめ 道徳教育	支援 生指	13	⑨本校では、生徒の人権を尊重して日常の教育活動を行っている。	22	18	3	1	1	88.9%	-	+1.9%	87.0%	8.9%	
		14	本校では、教育活動全般において、命の大切さや社会のルールを守る態度を育成している。	23	18	2	1	1	91.1%	-	+2.0%	89.1%	6.7%	
		15	本校では、性に関する指導が系統的・計画的に行われている。	25	17	1	1	1	93.3%	↗	+8.6%	84.8%	4.4%	
性教育	保安	16	個別の指導計画・教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成している。	19	22	2	1	1	91.1%	-	-4.5%	95.7%	6.7%	
		17	本校は、個別の教育支援計画・個別の指導計画について、面談などを通して保護者に開示し説明している。	27	15	1	1	1	93.3%	-	-0.1%	93.5%	4.4%	
		18	本校は、個別の教育支援計画・個別の指導計画について、生徒の特性や実態について教職員間で理解を図り、活用している。	12	22	9	1	1	75.6%	-	-4.9%	80.4%	22.2%	
		19	教科の個別の指導計画の目標・手立て・評価の作成において、支援部を中心とする現行の体制は役立っている。	16	20	7	1	1	80.0%	↗	+17.0%	63.0%	17.8%	
		20	本校は、自立活動の指導にあたっては、生徒が興味をもって主体的に取り組めるように工夫している。	13	24	5	2	1	82.2%	-	+1.8%	80.4%	15.6%	
評価	支援 教務	21	本校では、評価のあり方について話し合う機会がある。	7	19	16	2	1	57.8%	-	+1.3%	56.5%	40.0%	
教育相談	支援 保安	22	私は、カウンセリングマインドをもって保護者の相談に快く応じている。	22	19	2	1	1	91.1%	-	-2.4%	93.5%	6.7%	
		23	本校では、保護者からの相談内容により、専門家とも相談できる体制ができています。	22	21	0	1	1	95.6%	-	-2.3%	97.8%	2.2%	
設備環境	総務 保安	24	本校では施設・設備は、日常的に点検や管理が行われ、教育環境が整備されている。	16	25	3	1	0	91.1%	-	-2.4%	93.5%	8.9%	
危機管理	総務 保安	25	本校では、個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立されている。	16	21	6	1	1	82.2%	↘	-11.3%	93.5%	15.6%	
		26	本校では、地震や火災など緊急時の安全教育や保護者連絡等、安全対策が行われている。	19	21	3	1	1	88.9%	-	-6.8%	95.7%	8.9%	
家庭との コミュニ ケーション	教務 総務	27	本校では、保護者に出す文書・事務連絡等はわかりやすく工夫されている。	16	22	7	0	0	84.4%	-	-2.5%	87.0%	15.6%	
		28	本校では、連絡帳、電話等を活用して、家庭との連携がとれている。	21	22	0	1	1	95.6%	-	+2.1%	93.5%	2.2%	
情報発信 地域連携	総務	29	私は、学校内で他の教員の授業を見学している。	10	20	13	1	1	66.7%	↗	+8.0%	58.7%	31.1%	
		30	本校では、外部への情報提供の手段として学校のホームページが活用されている。(新規)	12	25	6	1	1	82.2%	-	+4.0%	78.3%	15.6%	
		31	⑧本校は、教育活動に必要な情報について生徒・保護者や地域への周知に努めている。	14	23	7	1	0	82.2%	-	-6.9%	89.1%	17.8%	
交流	支援 生指 学科	32	本校は、地域と交流する機会を設け、教育活動全般にいかしている。(カフェ・学科の取り組みなど)	18	16	9	2	0	75.6%	↘	-22.3%	97.8%	24.4%	
		33	本校は、他校や共生推進教室の生徒と交流する機会を設けるよう努めている。	11	20	13	0	1	68.9%	↗	+10.2%	58.7%	28.9%	
研修	支援 初任担当	34	本校は、専門性や資質向上のため、校内外の研修を推進している。	10	18	15	1	1	62.2%	↘	-9.5%	71.7%	35.6%	
		35	私は、授業見学に複数回行った。(新規)	15	16	9	4	1	68.9%				28.9%	
		36	本校では、初任者を含む教職経験1~2年めの者及び本校1年めの教職員に対する育成・支援が行われている。(新規)	9	12	17	6	1	46.7%				51.1%	
学校組織	管理職	37	校長は目標や課題を明確にした学校経営計画を策定し、PDC Aサイクルによる学校経営を推進している。	10	21	10	4	0	68.9%	↘	-11.5%	80.4%	31.1%	
		38	②本校では、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画にいかしている。	14	19	10	1	1	73.3%	-	+1.6%	71.7%	24.4%	
		39	本校では、学校予算は教職員の希望が反映されるものになっている。	11	23	10	1	0	75.6%	↗	+8.2%	67.4%	24.4%	
		40	本校では、職員朝礼は教職員間の情報共有の場として有効に機能している。	15	20	7	3	0	77.8%	↘	-11.4%	89.1%	22.2%	
		41	本校では、首席が分掌統括と学年統括を担うことで、報・連・相体制がスムーズに行われている。	18	20	5	1	1	84.4%	-	+1.8%	82.6%	13.3%	
		42	本校は、教職員間で日々の教育活動における問題意識や悩みについて、相談ができる組織である。	10	15	13	5	2	55.6%	-	-5.3%	60.9%	40.0%	

学校教育自己診断 結果と分析

数値はR1→R2の推移である。保護者からの回収率は共生推進分を含んで91%→97%と一層協力いただけた。肯定的回答が前年度から7ポイント以上変化している項目で、増加したものを[増]、減少したものを[減]と表記した。

○本校生徒:[増]が20項目中8項目。「学校へ行くのが楽しい」58%→80%と大幅に上昇。長期間の臨時休業で不安な日々が続いたが、学校再開後には生徒・教員と会えること、全生徒タブレット購入と活用、オンライン授業の環境整備、新型コロナ対策を工夫した授業や学校行事に対して積極的な気持ちが見られたと考える。[減]は「地域の方と交流する機会がある」81%→74%の1項目。今年度、地域の方を迎える取組みや校外イベント参加を中止した影響と考える。

○本校保護者:[増]が28項目中1項目。「性に関する学習は自分や周りの人を大切にする態度を養おうとしている」87%→96%、3年間の系統立てた性に関する学習や講演会を今後も継続したい。[減]は3項目、「他校や共生生徒と交流する機会がある」92%→81%は、新型コロナ対策により行事の中止や部活動の対外試合等に参加できなかった影響が大きいと思われる。また、「情報提供の手段としてホームページを活用」71%→60%は、外部向けはホームページ、内部向けは「むらの安心メール」として今年度から切り分けたことが主な要因と考える。

○共生生徒・保護者:生徒において[増]が19項目中1項目、[減]が13項目。共生生徒は本校への登校が1か月遅れ、本校行事への参加も中止など新型コロナの影響が大きい。[増]個別の支援に関する項目は72%→94%となり、各教科において目標設定や振り返りシートの記入等を実施、指導している成果と思われる。保護者においては、新型コロナの影響以外の項目は高い評価となった。

○教職員:[増]が42項目中7項目、[減]が5項目。特に「初任者や教員経験1～2年め、本校1年めの教員に対する育成・支援」の肯定は、新規47%と低い結果となった。自己診断後には、今年度から初任・支援教育1～2年めの教員に対して、支援教育Q&Aミニ研修会を開催して好評であった。「学校組織に関する項目」では、新型コロナの影響により、学校経営計画において実施できないことや、新対応のため計画変更が続いた。情報収集により、先を見越した計画に基づいた取組みとなるように努めたい。